



Data

監督・脚本・製作：ガイ・ナティエ
ヴ

出演：ジェイミー・ベル/ダニエル・マクドナルド/ダニエル・ヘンシュオール/ビル・キャンブ/ルイーザ・クラウゼ/カイリー・ロジャーズ/コルビ・ガネット/ゾーイ・コレッティ/マイク・コルター/ヴェラ・ファーマイガ/ラッセル・ポズナー

👁️👁️ みどころ

アメリカの人種差別反対デモの広がりは止まるところを知らないが、2003年に設立された白人至上主義団体「ヴィンランダーズ・ソーシャル・クラブ」(VSC)とは？その活動の実態は？彼らが彫っている全身のタトゥーの意味は？日本のヤクザとの異同は？

他方で、米国には反ヘイト団体も存在！ヘイト・クライムを終わらせる方法は①殺す、②終身刑にする、③転向させる、の3つだそうだが、なぜ主人公は転向したの？

ヤクザから堅気への「転向」が大変なら、白人至上主義の団体からの脱退も大変。「BASED ON A TRUE STORY」たる本作から、計25回、16か月に及ぶタトゥー除去手術を含むものすごい人生体験を味わいたい。「SKIN/スキン (短編)」のラストには唖然としたが、本作のラストは感動で、涙、涙、また涙・・・。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■本作は実話からインスパイアされた物語！■□■

本作の主人公である、スキンヘッドとタトゥーで強烈な印象を放った白人至上主義者の男ブライオン・ワイドナー (ジェイミー・ベル) は、実在の人物であるブライオン・ワイドナーをモデルにしたもの。また、ブライオンが10代の時に、親に見捨てられた彼を実の父母のように育てた、白人至上主義団体「ヴィンランダーズ・ソーシャル・クラブ」(VSC)の主催者であるフレッド・クレーガー (ビル・キャンブ) と、その妻シャリー (ヴェラ・ファーマイガ) も実在の人物。そして、3人の子持ち (娘持ち) のシングルマザー、ジュリー・プライス (ダニエル・マクドナルド) も実在の人物で、彼女と知り合ったことがきっかけで、ブライオンが「ヴィンランダーズ・ソーシャル・クラブ」からの離脱を決

心し、大変な苦勞の末にそれを実現したのも、現実の話らしい。過去の自分と決別するためブライオンはタトゥーの除去手術に挑んだが、その回数はなんと計25回、16か月にも及んだというからすごい。本作後半のスクリーン上には、呻き苦しみながらその手術に挑むブライオンの姿が再三描き出されるが、その苦しみは如何に？

こんなブライオンの姿は、日本なら、さしずめヤクザから堅気に戻るため組織と決別し、また刺青を消すために大変な苦勞をするストーリーだが、本作にはFBI（アメリカ連邦捜査局）まで登場してくるからすごい。本作を監督したイスラエル人のガイ・ナティーヴの祖父は、ホロコーストの生存者とのこと。そんな監督の問題意識がいっぱい詰まった本作は必見！

■□■時代は？場所は？舞台は？対立する組織は？■□■

本作の時代は2009年。舞台はオハイオ州コロンバスだ。2020年5月25日にミネソタ州ミネアポリスで黒人男性が警察官に取り押さえられて暴行死した事件を契機として、全米では一気に人種差別抗議デモが拡大し、6月12日に発生したジョージア州アトランタでの警察官による黒人男性の射殺事件は、更にこれを加速させた。黒人に対する人種差別が日本とは段違いに根強いアメリカ人の価値観の1つに「白人至上主義」がある。そして、その主義・主張を徹底させている団体の1つが、本作に登場する「ヴィンランダーズ (VSC)」だ。

他方、『黒い司法 0%からの奇跡』(19年)では、アラバマ州の州都モンゴメリーで、ブライアン弁護士が立ち上げた「EJI (イコール・ジャスティス・イニシアチブ)」の姿が感動的に描かれていた(『シネマ 46』266頁)が、それと同じアラバマ州のモンゴメリーで、1971年に公民権の保護を目指し設立された非営利団体が「南部貧困法律センター (SPLC)」。これは、白人至上主義団体や極右組織、ネオナチ団体の追跡と監視から、ヘイト・クライム被害者のための民事訴訟の支援など、差別や虐待、搾取といった不正義と戦い続けている組織らしい。本作については、この相対立する両組織の実態の把握が不可欠だから、そのためには、パンフレットの「BACK GROUND」が必読だ。

トランプ大統領の登場以降、皮肉なことにSPLCの活動が目目されるようになったそうだが、本作後半はその有力メンバーであるダリル・L・ジェンキンス (マイク・コルター) の、ブライオンの脱退活動を支援する熱意ある行動が描かれていくので、それに注目！ファシストの姿を撮影し、その顔と名前をネットで公開する活動を続けているダリルの考え方は明確だ。すなわち、ヘイト・クライムを終わらせる方法は3つだけ。ファシストたちを殺すか、終身刑にするか、転向させるかだけだ。しかし、ダリルはブライオンに対していかなる働きかけを？

■□■組織との決別を決心！しかし、その難しさは？■□■

私が学生時代に没頭していた学生運動に決別した理由は2つ。第1は卒業を控えて進路を考えた際に、司法試験の道を発見したこと。第2は恋愛問題だった。その恋愛問題が本

作に見るブライオンのジュリーへの恋と同じように（？）激しく強いものだったかどうかはわからない。しかし、恋を選ぶか、それとも組織を選ぶかの葛藤は、私もブライオンと同じように経験したと思っている。

そこで全く違うのは、私が学生運動の組織（セクト）から離脱するのは容易だったが、「ヴィンランダーズ」の主宰者であるフレッドはもちろん、その妻で構成員から「ママ」と呼ばれ、現実にもブライオンの「ママ」になっていたシャリーンも、ブライオンが恋のためにすんなり組織を離脱することなど認めなかったことだ。ブライオンはさまざまな確執と葛藤を経ながらも、あくまでジュリーとの恋を成就させるべく結婚式まで挙げ、「ヴィンランダーズ」からの逃避まで実行した。しかし、「ヴィンランダーズ」の追跡は執拗で、インディアナ州フォートウェインで、タトゥーに苦労しながらもひっそり新婚生活をスタートさせたブライオンとジュリーに対して、厳しい追及の手が！しかもその手法は陰湿で、ジュリーや3人の娘たちへ危害を加えることをほめかせるものだったから、ブライオンは絶体絶命！さあ、ブライオンはどうするの？

■□■ 自宅への銃撃！愛犬の殺害！追及の執拗さに屈服？ ■□■

若かりし頃の高橋英樹の代表作（出世作）が『男の紋章』（63年）。同作では、ヤクザを嫌い医者になることを決意した主人公が、ヤクザの親分である母親が殺害されたことをきっかけに、やっぱり組に戻り、ボスとして君臨する姿が描かれていた。コト程左様に、組織（ヤクザ）からの離脱は難しいが、同作では若親分になった主人公の「男の紋章」（入れ墨）はカッコいいものだった。しかし、それはあくまで映画の中だけの話で、現実には深刻だ。ブライオンが「ヴィンランダーズ」から真に離脱するためには、全身に彫ったタトゥーの除去手術が不可欠だが、そのための体の負担は？また、費用は？

他方、組織（ヴィンランダーズ）からの離脱は認めないぞ！の意思表示と追及は執拗で、ある日ついに家族と過ごすブライオンの自宅が銃撃されたうえ、翌朝には愛犬ボスの死体が吊るされていたからすごい。さらに、硬軟を織り交ぜたシャリーンの追及は巧妙なものだった。そのため、長女のデジレー（ゾーイ・コレッティ）がシャリーンと連絡を取っているのではないかと勘繰ったブライオンがデジレーにつかみかかっていたから、アレレ。そして、それを見たジュリーは「娘に手を出すやつは絶対に許さない」と彼を突き放してしまったから、とうとうブライオンは大事な「家族」まで失ってしまうことに。コトここに至れば、さすがのブライオンもヴィンランダーズに屈服？

■□■ 何度もうめき声が！あれは何？そして感動的な結末へ！ ■□■

映画ではヤクザと警察の対立がよく描かれるが、誰がどう考えてもその場合やっぱり強いのは警察。日本でのそれは、山口組と警察との攻防戦（？）を見ればよくわかる。それと同じように、いくらファシスト集団たる「ヴィンランダーズ」の力が強いと言っても、アメリカが誇るFBI（アメリカ連邦捜査局）がその追及に乗り出せば、その壊滅など「赤子の手をひねる」ようなもの。そのために不可欠なものが「情報」だが、もし「ヴィンラ

ランダース」の共同創設者の1人であるブライオンがFBIに全ての情報を提供すれば・・・？しかして、前述のような失意の中、ブライオンは遂にFBIにすべての情報を提供したから、さあ、FBIは「ヴィンランダース」に向けていかなる追及を？

他方、ブライオンはダリルの熱意とタトゥーの除去手術の費用を負担する匿名の裕福な女性の厚意の中で、タトゥー除去手術に臨むことになったが、本作後半では、その手術の際の苦痛を訴えるうめき声が何度も流れてくるのでそれに注目！皮膚を焼いてタトゥーを消していく手術の痛さは相当なものだろう。ブライオンはそれを計25回、16か月間も受け続けたのだから、その苦痛は相当なものだ。しかして、タトゥーの除去手術に成功したブライオンが、再びジュリーのもとを訪れたのは2011年7月。その時のブライオンの姿は？そして、それを見た時のジュリーの喜びは？

ショッキングな結末だった『SKIN/スキン (短編)』とは正反対となる「BASED ON A TRUE STORY」である本作の、何とも感動的なラストには、思わず両手に力が入るとともに大粒の涙が・・・。

2020 (令和2) 年7月13日記